



平成26年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 クロスプラス株式会社

コード番号 3320 URL <http://www.crossplus.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 文夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 山本 大寛

TEL 052-532-2211

四半期報告書提出予定日 平成25年9月13日

配当支払開始予定日

平成25年10月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第2四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第2四半期	35,465	0.2	△3,129	—	△3,033	—	△2,160	—
25年1月期第2四半期	35,383	0.1	△1,814	—	△1,709	—	△962	—

(注) 包括利益 26年1月期第2四半期 △1,902百万円 (—%) 25年1月期第2四半期 △1,072百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第2四半期	△295.22	—
25年1月期第2四半期	△131.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
26年1月期第2四半期	33,960	—	15,170	44.7	2,073.05	—		
25年1月期	39,153	—	17,218	44.0	2,352.98	—		

(参考) 自己資本 26年1月期第2四半期 15,170百万円 25年1月期 17,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年1月期	—	20.00	—	—	—
26年1月期(予想)	—	—	—	10.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想(平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,500	4.4	△600	—	△500	—	△600	—	△81.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期2Q	7,718,800 株	25年1月期	7,718,800 株
② 期末自己株式数	26年1月期2Q	400,990 株	25年1月期	400,930 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期2Q	7,317,813 株	25年1月期2Q	7,317,870 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績については、今後様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
参考資料 個別業績・個別業績予想	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策への期待感から円安、株高が進むとともに企業業績の改善が見られるなど、景気は穏やかな回復傾向にあります。しかし当アパレル業界においては、急激な円安による海外からの輸入商品の原価上昇により、厳しい状況となりました。

このような状況の中、当社グループは、㈱ヴェント・インターナショナルの立て直しにグループをあげて取り組むとともに、強みである「マスファッションの単品競争力」、「ブランド力」、「売場提案型トータルウェアリングの企画力・提案力」を磨き、経営基盤の強化に努めてまいりました。

製造卸売グループでは、量販店はトップスからボトムの売場提案型トータル販売により、大手GMS向けが好調に推移した結果、売上は増加いたしました。専門店は大手中専門店チェーンが都市型店舗向けのトータル提案企画の拡大により増加しましたが、スタイリンク㈱の有力専門店向けODMが苦戦したことで、減収となりました。無店舗はカタログ通販向けの販売拡大により、増収となりました。以上により、製造卸売グループは、売上高は増加いたしました。前年1ドル80円から今年96円への急激な円安により仕入原価が上昇する一方、販売価格への転嫁も進まず、営業損失は悪化いたしました。

SPAグループでは、ミセスSPAは、百貨店市場の回復や「ジュンコ シマダ」を軸にそのノウハウを他ブランドに活用することで収益改善を進めた結果、好調に推移いたしました。一方、再建中の㈱ヴェント・インターナショナルは、経費削減は計画通り進みましたが、SC店舗向けブランドの不振により売上が減少し苦戦いたしました。以上の結果、SPAグループは、売上高は減少し、営業損失は大きく改善するには至りませんでした。

これらの結果、連結業績は、売上高は354億65百万円(前年同期比0.2%増)、営業損益は31億29百万円の損失(前年同期は18億14百万円の営業損失)、経常損益は30億33百万円の損失(前年同期は17億9百万円の経常損失)、四半期純損益は21億60百万円の純損失(前年同期は9億62百万円の四半期純損失)となりました。

なお、当社グループは衣料品事業のみの単一セグメントのため、セグメント別の記載はしていません。

グループ別、販売チャネル別の売上高は以下のとおりです。

区分		金額(百万円)	前年同期比(%)	
製造卸売 グループ	量販店	14,271	+6.6	
	専門店	11,641	△4.7	
	無店舗	3,265	+6.6	
	百貨店	372	△10.3	
	その他	681	+2.9	
	製造卸売グループ合計	30,233	+1.6	
SPA グループ	ヤングSPA事業	直営店	2,287	△21.3
		その他	634	△4.2
	小計	2,922	△18.1	
	ミセスSPA事業	直営店	1,480	△1.6
		その他	908	+37.3
	小計	2,389	+10.3	
SPAグループ合計	5,311	△7.4		
グループ合計	35,545	+0.2		
消去	△79	—		
合計	35,465	+0.2		

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は339億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ51億93百万円の減少となりました。

流動資産は227億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億87百万円の減少となりました。流動資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が38億50百万円、現金及び預金が18億42百万円減少したことによります。

固定資産は112億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6百万円の減少となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は187億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億44百万円の減少となりました。

流動負債は156億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億65百万円の減少となりました。流動負債の減少の主な要因は支払手形及び買掛金が25億88百万円、短期借入金が11億円減少したことによります。

固定負債は31億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億20百万円の増加となりました。固定負債の増加の主な要因は長期借入金が11億6百万円増加したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は151億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億48百万円の減少となりました。純資産の減少の主な要因は利益剰余金が23億6百万円減少したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ18億56百万円減少し、41億83百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、20億84百万円(前年同期は使用した資金16億17百万円)となりました。これは、税金等調整前四半期純損失が29億29百万円(前年同期は税金等調整前四半期純損失17億71百万円)となり、売上債権の減少が35億34百万円(前年同期は32億75百万円減少)となったものの、仕入債務の減少25億98百万円(前年同期は40億5百万円減少)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、1億85百万円(前年同期は使用した資金6億55百万円)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が1億89百万円(前年同期は4億8百万円)となったものの、有形固定資産の売却による収入3億61百万円(前年同期は有形固定資産の売却はなし)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、15百万円(前年同期は10億72百万円)となりました。これは、短期借入金の減少が11億円(前年同期は11億円の増加)となったものの、長期借入れによる収入14億円(前年同期は2億円)等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年1月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績及び下期の見通し等を踏まえ、平成25年3月14日公表の「平成25年1月期決算短信」に記載しました業績予想を修正しております。詳細は平成25年8月23日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,311	4,469
受取手形及び売掛金	15,356	11,506
電子記録債権	883	1,208
商品	4,314	3,966
貯蔵品	34	20
その他	850	1,593
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	27,744	22,757
固定資産		
有形固定資産	5,977	5,748
無形固定資産	326	185
投資その他の資産		
投資有価証券	3,374	3,840
その他	1,730	1,428
投資その他の資産合計	5,105	5,268
固定資産合計	11,408	11,202
資産合計	39,153	33,960
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,064	11,475
短期借入金	3,200	2,100
1年内返済予定の長期借入金	227	384
未払法人税等	47	9
賞与引当金	98	131
返品調整引当金	100	38
ポイント引当金	33	31
事業整理損失引当金	—	12
その他	2,016	1,439
流動負債合計	19,787	15,622
固定負債		
長期借入金	340	1,446
退職給付引当金	1,134	1,060
役員退職慰労引当金	382	393
その他	288	266
固定負債合計	2,146	3,167
負債合計	21,934	18,790

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,944	1,944
資本剰余金	2,007	2,007
利益剰余金	13,192	10,885
自己株式	△532	△532
株主資本合計	16,612	14,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	548	824
繰延ヘッジ損益	77	31
為替換算調整勘定	△19	8
その他の包括利益累計額合計	606	864
純資産合計	17,218	15,170
負債純資産合計	39,153	33,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)
売上高	35,383	35,465
売上原価	27,112	29,504
売上総利益	8,270	5,961
返品調整引当金戻入額	109	100
返品調整引当金繰入額	74	38
差引売上総利益	8,305	6,023
販売費及び一般管理費	10,119	9,152
営業損失(△)	△1,814	△3,129
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	51	48
受取家賃	12	35
その他	68	65
営業外収益合計	138	156
営業外費用		
支払利息	8	10
賃貸収入原価	10	30
固定資産除却損	—	15
その他	13	3
営業外費用合計	32	60
経常損失(△)	△1,709	△3,033
特別利益		
固定資産売却益	—	185
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	185
特別損失		
固定資産除却損	17	—
減損損失	20	32
事業整理損失引当金繰入額	—	12
事業整理損	—	33
その他	25	3
特別損失合計	62	81
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,771	△2,929
法人税、住民税及び事業税	47	13
法人税等調整額	△728	△782
法人税等合計	△681	△769
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,090	△2,160
少数株主損失(△)	△127	—
四半期純損失(△)	△962	△2,160

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,090	△2,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	275
繰延ヘッジ損益	△31	△45
為替換算調整勘定	8	28
その他の包括利益合計	17	258
四半期包括利益	△1,072	△1,902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△944	△1,902
少数株主に係る四半期包括利益	△127	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,771	△2,929
減価償却費	353	325
減損損失	20	32
受取利息及び受取配当金	△57	△55
支払利息	8	10
固定資産売却損益(△は益)	—	△185
売上債権の増減額(△は増加)	3,275	3,534
たな卸資産の増減額(△は増加)	836	374
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,005	△2,598
その他	△296	△596
小計	△1,636	△2,087
利息及び配当金の受取額	53	51
利息の支払額	△9	△11
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△14	△32
その他	△11	△4
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,617	△2,084
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△408	△189
有形固定資産の売却による収入	—	361
差入保証金の回収による収入	8	170
その他	△255	△157
投資活動によるキャッシュ・フロー	△655	185
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,100	△1,100
長期借入れによる収入	200	1,400
長期借入金の返済による支出	△80	△136
配当金の支払額	△146	△146
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,072	15
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,193	△1,856
現金及び現金同等物の期首残高	5,666	6,040
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,472	4,183

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

参考資料

平成 26 年 1 月期第 2 四半期の個別業績(平成 25 年 2 月 1 日～平成 25 年 7 月 31 日) (%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
26 年 1 月期第 2 四半期	30,686	8.5	△2,240	—	△3,028	—	△2,115	—	△289.03
25 年 1 月期第 2 四半期	28,272	△0.7	△1,069	—	△956	—	△595	—	△81.34

※(株)ヴェント・インターナショナルの業績不振に伴い、同社の損失に備え引当金を計上した結果、営業利益と経常利益が大きく乖離しております。

平成 26 年 1 月期の個別業績予想(平成 25 年 2 月 1 日～平成 26 年 1 月 31 日) (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	10.3	300	△69.3	△500	—	△600	—	△81.99